

Sarabetsu

広報さらべつ 12月号
Public Relations Sarabetsu 2017 vol. 663



特集

さらべつに応援大使がやってきた！



8 昨年のファンフェスティバルにおいて、3人の応援大使を引き当てた2人から花束を贈呈。
9 小中学生のキャッチボールを指導。石井選手からボールの握りを指導されるシーンも。10 トークショー終了後には来場者全員で記念撮影！
11 12 トークショーで行われた抽選会では2人の選手のサインボールや2人連名のサインが入ったユニフォームが当たりました。

さらべつに応援大使がやってきた！

FIGHTERS

北海道日本ハムファイターズ
更別村応援大使 NEWS



11月21日(火)、村の応援大使を務める大野奨太選手と石井裕也選手が来村しました。残念ながら、もう一人の応援大使、ブランドン・レアード選手は来ることができなかったものの、普段プレーしている姿しか見られないプロ野球選手に子どもから大人まで大興奮。役場、更別小学校、更別中央中学校の訪問、ふるさと館で行われたトークショーの様子をお伝えします。



1 役場を表敬訪問した2人から記念品としてサイン入りの特大野球ボールが村へ贈られました。2 5 更別小学校で児童一人ひとりとハイタッチ。3 小学生からの質問コーナー。鋭い質問に2人が苦笑いするシーンも。4 この日の給食、「ふるさと給食」を試食。6 中学校で野球部の生徒とキャッチボール。選手からはなかなかの高評価！7 レストハウスかしわにて昼食。「肉が柔らかくて美味しい」との声をいただきました。



冬の暮らしを快適に

く村の除雪についてお知らせしますく

寒さが日ごとに厳しくなり、本格的な降雪シーズンが到来しました。

村では冬の生活道路を確保し、みなさんの生活を支えるため除雪体制を整えています。しかし、迅速で効率的な除雪作業を行うためには、地域にお住まいのみなさんの協力が欠かせません。

一人ひとりがマナーを守り、冬の暮らしを快適に過ごせるようにしましょう。

今月号では、除雪路線や出勤内容などについてお知らせします。除雪作業へのみなさんのご理解とご協力をお願いします。

除雪の注意点

■除雪車に近づかない

作業中の除雪車は何度も前進や後退を繰り返すことがあるため、車両の前後を横切ったり、通り過ぎた直後に道路を渡らないでください。

自動車の運転中に対向車線から除雪車が近づいたときは、通り過ぎるまで車を停止してください。

■雪を路上に出さない

市街地の除雪では、歩道を小型ロータリー車で、車道を除雪トラックまたはグレーダーで雪を道路の片側に寄せ、ロータリー車で排雪します。

除雪車が通る前に自宅敷地内の雪を道路に投雪すると、車両の通行に支障が出たり、ハンドルをとられ交通事故の原因となる可能性がありますので、雪を路上に出さないでください。

■駐車場には隅から順に停める

車が分散して駐車していると、その間を縫うように除雪を行うため作業の効率が悪くなります。

降雪が見込まれているときに公共施設の駐車場へ車を止める場合は、隅から順に停めてください。

■除雪する歩道に雪を積まない

ロータリー車で除雪が困難になり、作業に遅れが出る場合がありますので、歩道に雪を積まないでください。

■路上駐車をしない

除雪車が路上駐車車両の車両に接触しないように慎重に通過するため、作業全体が遅れるばかりか、きれいに除雪ができず多くの方に迷惑がかかりますので、路上駐車はしないでください。



農村部除雪路線図

1次路線 2次路線
3次路線 国道・道道



※ 3次路線の一部についてはこれまでに引き続き、各行政区のご協力により『住民協働事業』の一環で除雪が行われています。

除雪の基準

■作業開始は安全確保を優先

除雪車の出勤は10センチ相当の積雪を目安としています。しかし、事故防止のため日中は積雪量が10センチに達しても、降雪状態を見ながらすぐに作業を開始せず、翌日の午前3時30分頃から通学・通勤の時間に間に合うように行います。

■大雪の場合は直ちに1次路線を除雪

乗用車が走れなくなるほどの大雪の場合は、日中であっても直ちに1次路線の除雪を開始します。ただし、2次路線・3次路線は翌日の通常開始時間から実施します。

吹雪などで視界が悪くなった場合は、除雪車の事故防止のため天候が回復するまで作業を遅らせることがあります。

■除雪は市街地の優先道路から

大雪の場合は、最初に更別市街と上更別市街の1次路線から除雪を始めます。

農村部は1次、2次、3次路線の順に除雪を始め、並行して市街地の仕上げ作業を行います(路線区分は5ページ・6ページをご覧ください)。

乗用車が通行できる積雪量のときは、路線順に関係なく効率的な順番で作業を行います。

■雪捨て場は

村内2か所に設置

住宅敷地内の雪の排雪場所は、更別・上更別地域にそれぞれ1か所ずつあります。

更別地域は東15号沿いの南4線・5線間、上更別地域は上更別墓地北側の道道沿いです(5ページの路線図で確認ください)。



マイナンバー制度の「情報連携」について

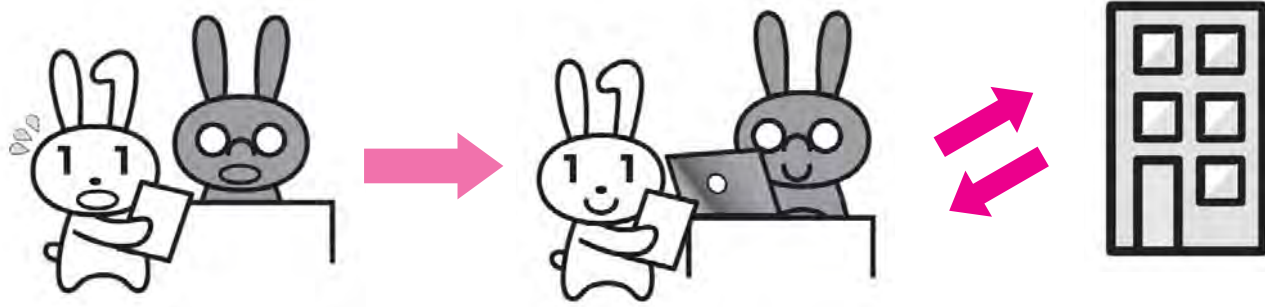
情報連携とは

マイナンバー法に基づき、専用のネットワークシステムを用いて、異なる行政機関の間でマイナンバーから生成された符号をもとに特定個人情報をやり取りすることです。

各種手続きの際にマイナンバーを申請書などに記入することで、住民が行政機関などに提出する必要があった書類が平成29年11月13日から順次、省略できるようになりました。

マイナンバーを提供する際は、マイナンバーカードなどの本人確認書類(マイナンバー確認書類及び身元確認書類)をご用意ください。

今まで必要だった添付書類が情報連携により省略できます！



※事務によっては、引き続き添付書類の提出をお願いする場合があります。

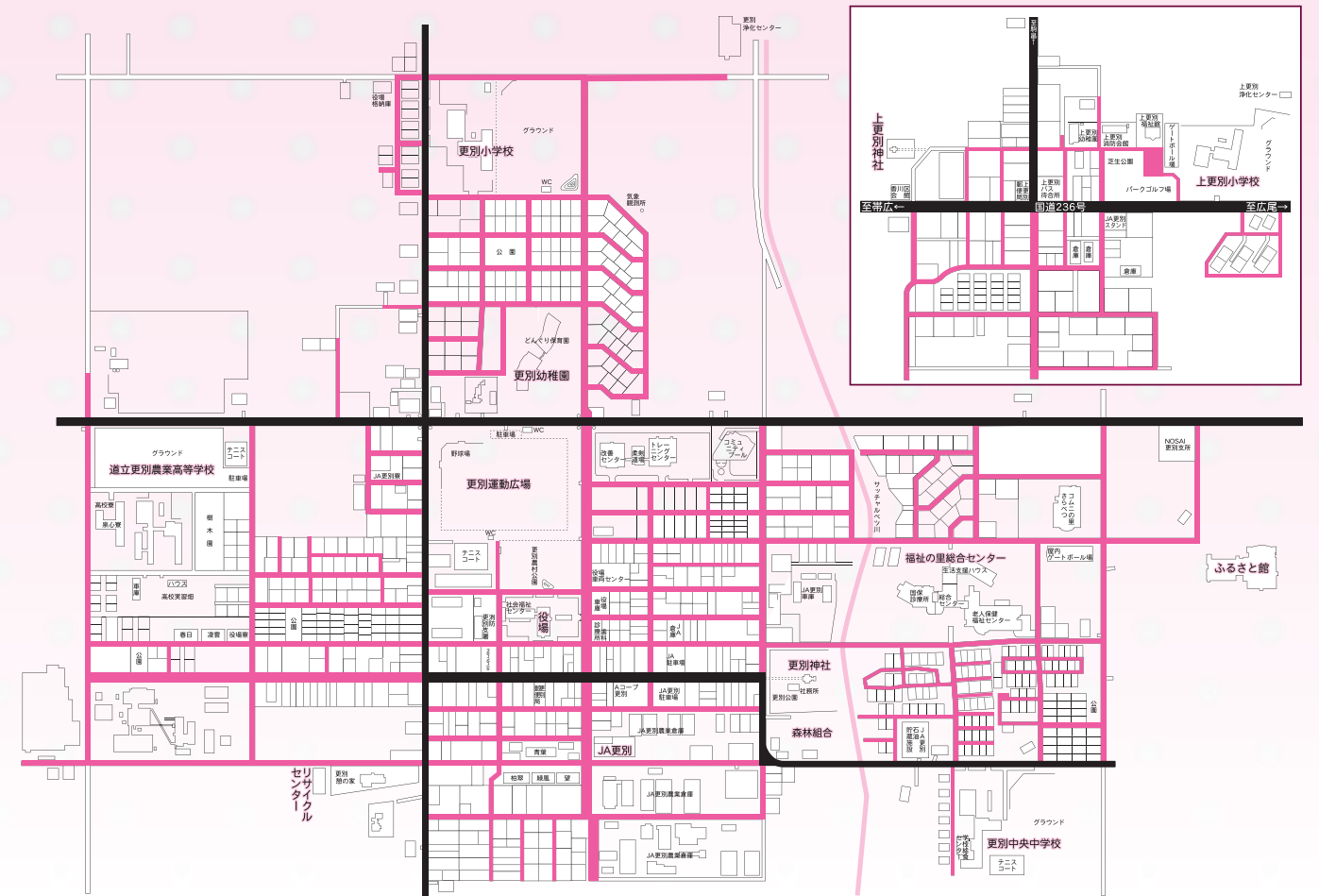
情報連携の対象手続きについて

情報連携可能な事務手続きは、以下の内閣府ホームページに一覧が掲載されておりますのでご確認ください。

内閣府ホームページ <http://www.cao.go.jp/bangouseido/case/individual/renkei.html>

- 問い合わせ
マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178
平日 9時30分～20時00分 土日祝 9時30分～19時30分(年末年始除く)

市街地除雪路線図



❄️ 除雪に関するお願い ❄️

❖積雪状況によっては
作業に遅れが出ます

「積雪量が多い」、「雪が湿っている」などの原因で作業に遅れが出る場合は、1車線分の除雪となる場合があります。

❖除雪後の支障箇所を
ご一報ください

除雪車が通った後、吹雪などによる吹き溜まりなど、交通に支障がある箇所を見つけた際には役場へ連絡願います。

❖歩道側に一度
雪を集めます

市街地を除雪する際、雪を歩道側に集めてから排雪します。住宅の出入り口が道路に面している方はご理解願います。

❖除雪に関するご意見を
お待ちしています

除雪に関するご質問・ご意見は役場まで連絡願います。

●問い合わせ
役場建設水道課道路維持車両係
☎52・5200



国保広域化について
連載でお知らせします

【第3回】 国保広域化ってなに？

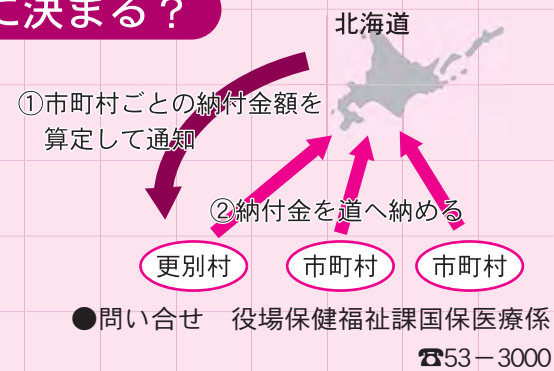
平成30年度からの保険料率はどのように決まる？

北海道

- ①北海道全体の医療費支払いに必要な金額から、各市町村所得などをとって納付金額を算定・公表する。

更別村

- ②北海道が定めた納付金を納付するために必要な保険料率を決定・徴収する。



文化賞・スポーツ賞等表彰式

「文化の日」の11月3日、文化・スポーツ活動の振興に貢献された方や、優秀な成績を収めた方の功績をたたえる『更別村文化賞・スポーツ賞等表彰式』が行われました。

式典では荻原教育長が受賞者へ表彰状と記念品を贈り、「受賞されたみなさまには永年にわたり各分野の振興・発展に多大な貢献をしていただきました。ご努力とご尽力に敬意を表します」と挨拶。

授。

来賓の西山村長と松橋村議会議長の祝辞に続き、受賞者を代表して藤原正俊さんが「今年、さらべつかしわ太鼓保存会は25周年を迎えることができました。私自身が打ち手や役員をここまで続けることができたのも、多くの人が支えてくれたおかげ。これからもこれに満足することなく、精進していきたいと考えております」と謝辞を述べられました。

スポーツ賞

及川 忍 さん



第66回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会男子2000mリレーにおいて4位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ賞

七海 詩織 さん



第66回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会女子2000mリレーにおいて6位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ賞

田中 姫麗 さん



第66回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会女子2000mリレーにおいて5位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ賞

酒井 嘉子 さん



第66回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会女子1000mにおいて4位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

文化賞

藤原 正俊 さん



多年にわたりさらべつかしわ太鼓保存会の役員として、会の運営と発展に尽力し、更別村の文化の振興に貢献した功績。

文化賞

堀井 麻由 さん



第50回全道高等学校書道展において北海道高等学校文化連盟賞を受賞するなど輝かしい成績を収め、更別村の文化の振興に貢献した功績。

文化奨励賞

渡辺 玲斗 さん



第62回北海道吹奏楽コンクール帯広地区予選高等学校C編成の部において金賞を受賞するなど輝かしい成績を収め、更別村の文化の振興に貢献した功績。

スポーツ奨励賞

阿部 善浩 さん



多年にわたり更別村スケート協会の役員として、会の運営と発展に尽力され、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ奨励賞

本多 將裕 さん



多年にわたり上更別スポーツ少年団スケート部の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な部員を育成するなど更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ奨励賞

内海 一憲 さん



多年にわたり上更別スポーツ少年団スケート部の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な部員を育成するなど更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ奨励賞

飛田 彩夏 さん



多年にわたり上更別スポーツ少年団バドミントン部の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な部員を育成するなど更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ奨励賞

銭谷 寿史 さん



多年にわたり更別中央中学校部活動の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な部員を育成するなど更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

スポーツ奨励賞

九本 有希菜 さん



第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦において3位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。



村内ステージめぐり

11月に入り村内の幼稚園、小学校ではそれぞれ発表会が行われ、子どもたちが毎日のように練習してきた成果を披露しました。会場に集まった保護者や地域のみなさんからは、温かい拍手が送られていました。



更別小学校学習発表会

更別幼稚園保育発表会

開村 70 周年記念事業

ご当地ナンバープレートのデザインが決定！

開村70周年記念事業として募集を行った『ご当地ナンバープレート』のデザインが住民投票と10月10日に行われた選考会で決定され、最優秀賞に林進さん(音更町)の作品が選ばれました。選ばれた作品は、小型特殊自動車(緑色)や原動機付自転車50cc以下(白色)、50cc超～90cc 以下(黄色)、90cc超～125cc 以下の4色をベースとしたご当地ナンバープレートの原案として使用されます。

11月10日に行われたデザインコンテスト表彰式には、最優秀賞の林さんと特別賞の平山のり子さんが出席。西山村長から「村のPRにもつながる『ご当地ナンバープレート』のデザインを考案していただき感謝しています。これからも村をバックアップしていただけたら」とお礼の言葉とともに表彰状などが贈られました。最優秀賞を受賞した林さんは「更別と言えばトラクターと広大な畑にたたずむ防風林。それらと夕日が織りなす景色をイメージして作成しました」と作品についてコメント。『ご当地ナンバープレート』は平成30年1月下旬より発行開始予定です。



最優秀賞の林さん(中央)、特別賞の平山さん(左)



林さんの作品をもとにしたご当地ナンバープレート(平成30年1月下旬より発行開始予定)

▼入賞者は以下のとおり(順不同、敬称略)

- 最優秀賞：林進
- 優秀賞：塩崎榮一、居関孝男
- 特別賞：天野穂積、高橋弘行、佐藤政信、林中朱里、平山のり子
- 入賞：今井優来、沓澤真由、水口歩美、氏家灯乃都、中屋敷吏沙、大岡未妃乃、木村雅兜、鍵水真、早坂咲優香、益田璃音

●問い合わせ
役場住民生活課資産税係
☎52-2112

ご確認ください！マイナンバー

年末調整や確定申告の申告書などに12桁のマイナンバー(個人番号)の記入が必要となります。マイナンバーは通知カードまたはマイナンバーカードに記載されていますので、お手持ちのカードをご確認ください。

○カードを紛失したときは、役場住民生活課で以下の手続きを行ってください。

紛失したカード	通知カード	マイナンバーカード
必要な手続き	・紛失したことの届出 ・通知カード再交付申請またはマイナンバーカード交付申請	・紛失したことの届出 ・マイナンバーカード再交付申請
必要なもの	・印鑑 ・本人確認書類(運転免許証など顔写真付きのものは1点、保険証や年金手帳など顔写真が付いていないものは2点) ※代理申請の場合は、本人及び代理人の本人確認書類が必要です。 ・自宅以外で紛失した場合、警察署で出した遺失届の受理番号	
手数料	・通知カードの再交付：500円 ・マイナンバーカードの初回交付：無料	・マイナンバーカードの再交付：800円
注意事項	通知カード及びマイナンバーカードの発行には2～3週間かかります。お急ぎの方には使用目的を確認した上で、マイナンバー入りの住民票(1通300円)を発行いたします。 ただし、マイナンバーには番号利用法において提供の制限などに関わる規定が設けられているため、住民票は本人または同一世帯員にのみ直接交付しています。代理人が申請された場合は、本人宛に住民票を郵送いたしますので、ご了承ください。	

●問い合わせ 役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112



11/24 除雪作業の安全を誓う

村道の維持管理業務に携わる村内の事業所で、労務災害防止と交通安全対策の推進を目的に組織される村道路維持連絡協議会（廣瀬英明会長）が、本格的な除排雪シーズンを前に事故防止への意識をより一層高めようと、社会福祉センターで安全大会を開催しました。

大会には村内の5事業所から28名が参加し、廣瀬会長が「作業は安全が第一。プロとしての意識をもって作業にあたっていただきたい」と挨拶。西山村長の挨拶、星更別駐在所長の交通安全講話に続き、参加者を代表して更別運輸の目黒博行さんが安全宣言を読み上げ、「ゼロ災害達成」を誓いました。

社会福祉センターで開村70周年記念事業として「まちづくりフォーラム」さらばつが開催され、多くの方が会場に足を運びました。

第1部として行われた講演会では『いま、「こちやま」がもしも！』と題し、地域共生社会の可能性と題し、社会福祉法人佛子園の雄谷良成理事長が講演。雄谷理事長は「すべての人に役割を与え、楽しいと思える場所づくりが大切」と共生社会を目指すうえでアドバイスを述べました。

第2部のパネルディスカッションでは雄谷理事長、西山村長に加え、国保診療所の山田所長が参加し、今後のまちづくりについて、さまざまな視点から意見を出し合いました。

11/24 共生社会の実現を目指して



11/26 第8回更別村社会福祉大会を開催



村社会福祉協議会（古山うめ会長）主催の「第8回更別村社会福祉大会」が老人保健福祉センターで開催されました。

開会式では社会福祉事業功労者表彰が行われ、社会福祉増進に寄与された9個人、2法人に表彰状と記念品が授与されました。その後、表彰者を代表して大田英夫さんが「今後の更別に期待して今後も協力していきたい」と受賞の言葉を述べました。

ステージでは、コミュニティデザインナーの西上ありさんと訪問看護師の松山なつむさんが「更別村で元気に楽しく暮らし続けるコツ」と題し、記念講演が行われました。公演終了後には、さらばつかしわ太鼓保存会少年部の演奏や健やかクラブの踊り、福祉クイズ抽選会などが行われ、会場を多に沸かせていました。会場には、福祉器具の展示や福祉



10/25

民生委員の在り方を考える

平成29年度南十勝ブロック民生委員児童委員研修会が老人保健福祉センターで開催され、南十勝4町村の民生委員や児童委員などが参加しました。

研修会では、国保診療所の山田所長が講師となり「支え愛」のまちをつくる」と題し講演。医師の視点から見た民生委員の役割や活動方法などについての提案を行いました。山田所長は「さまざまな場所に顔を出し、いろいろな人の話を聞くことが大切だ」と話していました。

講演終了後には懇親会も行われ、所属町村以外の委員との交流も深めていました。



11/21 行政とのがかわりを学ぶ

更別中央中学校の3年生を対象に総務省釧路行政監視行政相談センターの方と更別村行政相談委員の高畑昭子さんが講師を務め、行政相談出前教室が行われました。

この事業は、これから社会に出る中学生に向けて日常生活と行政のがかわりや身近な行政の問題を取り上げ、行政に関心を持ってもらうことを目的に平成24年度から実施されています。今回の教室では、事例に沿ってグループで話し合い、対策を発表。実際に村内で改善された例も紹介され、行政相談の重要性を感じる内容となっていました。

高畑さんは「身近なところに目を向けてみて」と話していました。

11/2 交通安全の意識向上を



11/23

日頃の練習の成果を発揮



今年で54回目となる村総合文化祭芸能発表会実行委員会主催が社会福祉センターで開催され、村内のサークルで活動するみなさんや園児など、およそ130名が歌や踊りなどを披露しました。

開会式では村瀬泰伸実行委員長が「今年は多くの方が来られるように祭日の開催としました。最後まであたたかい声援をお願いします」と挨拶を述べ、園児の遊戯で開幕。

出演者のみなさんはきれいな衣装に身を包み、練習を重ねてきた成果を存分に発揮。演目が終わるたびに会場からは大きな拍手が送られていました。



お知らせ

年末年始のごみの持ち込みについて

くりりんセンターの年末のごみの受け入れは12月30日(土)まで、年始は1月3日(水)から通常どおり9時00分～17時00分までです。

なお、年末年始は大変混雑することから、計画的にごみ収集日にお出しすることをおすすめします。

家庭ごみの持ち込みには、10kgごとに170円の料金がかかります(指定ごみ袋を使用する必要はありません)。

●問い合わせ
十勝環境複合事務組合
くりりんセンター ☎37-3550

明治150年関連施策についてお知らせします

平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から起算して満150年にあたります。明治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した日本は、多岐にわたる近代化への取り組みを行いました。また、多くの若者や女性などが海外に留学して知識を吸収し、外国人から学んだ知識を活かしつつ、単なる西洋の真似ではない、日本の良さや伝統を活かした技術や文化も生み出されました。一方で昨今に目を向ければ、人口減少社会の到来や世界経済の不透明感の高まりなど激動の時代を迎え近代化に向けた困難に直面していた明治期と重なっており、「明治150年」を節目として改めて明治期を振り返り将来につなげていくことは、意義のあることだと考えています。

こうした中、政府では、内閣官房副長官を議長とする「明治150年」関連施策各府省連絡会議」を設け、政府一体となって「明治150年」関連施策を推進しているところです。

「明治150年」関連施策は大きく3つの柱で推進しています。1つ目は、「明治以降の歩みを次世代に遺す施策」です。デジタルアーカイブ化の推進などにより、明治期の歴史的遺産や明治以降の歩みを未来に遺し、特に次世代を担う若者にこれからの日本を考えてもらう契機としようするものです。2つ目は、「明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策」です。例えば、明治期にはさまざまな人物が各方面で活躍されていましたが、時間とともにその記憶が薄れて一部にしか知られていない方も多いのではないのでしょうか。「明治150年」を機にこれらを改めて知る機会を設け、明治期に生きた人々のよりどころとなった精神を捉えることにより、日本の技術や文化といった強みを再認識し現代に活かすことで、日本の更なる発展を目指す基礎にしようとするものです。3つ目は、「明治150年に向けた機運を高めていく施策」です。内閣官房のホームページなどを通じて情報提供を行うほか、関連する施策や取り組みに広くお使いいただけるよう、平成29年8月にロゴマークを決定したところです。

「明治150年」関連施策は、明治維新の時期のみを対象とする取り組みではありません。維新の時期も含め、明治期全般のさまざまな取り組みや人々の活躍などを対象としたものです。今後とも、国だけでなく、地方公共団体や民間も含めて、日本各地で「明治150年」に関連する多様な取り組みが推進されるよう、「明治150年」に向けた機運の醸成に努め、広報を中心とした支援を行っていきます。

詳しくは以下のホームページを御覧ください。
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>

暴風雪などによる被害の防止について

近年、道内では、急速に発達した低気圧の影響により、吹雪の発生頻度が低かった地域にも暴風雪などによる災害が発生しています。天候の悪化が懸

念されるときは外出を控えましょう。やむを得ず車で外出するときは、次のことを参考にしてください。

◆車両が立ち往生する可能性があるの
で、防寒具やスコップ、けん引ロープなどを車に用意し、燃料が十分に
あるかを確認しましょう。
◆運転中に地吹雪などで危険を感じた
ときは、道の駅やコンビニエンスス
トアなどで天候の回復を待ちましょ
う。

◆車が雪に埋まった場合はエンジンを
切りましょう。マフラーが雪に埋ま
ると排気ガスが車内に逆流して、一
酸化炭素中毒を起こす危険性があり
ます。

●問い合わせ
北海道危機対策局危機対策課
防災グループ ☎011(231)4111

知っていますか 道の「苦情審査委員」制度

「北海道苦情審査委員」制度とは、道が行った業務や制度の内容を審査する制度です。

みなさんの利害に関することで、道政に対する苦情であれば「苦情審査委員」に申し立てができます。申し立てをすると、「苦情審査委員」が公正で中立的な立場から、道の関係機関に対して必要な調査を行います。審査の結果、道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、是正や改善を求めます。

苦情申立の窓口は、道庁の「道政相談センター」が各総合振興局の「道政相談室」です。申し立てる場合は、「苦情申立書」に必要事項を記入し提出してください。

●問い合わせ
総合政策部知事室道政相談センター
☎(011)204-5523

この冬、無理のない 範囲で節電を

東日本大震災以降、安定的な電力需給の確保に向け、道民のみなさんや企業のみなさんのご協力をいただき、オール北海道で節電に取り組んできまし

た。

この冬は企業や家庭における節電の定着などを織り込んだ上で、電力需給は一定程度改善し、安定供給を確保できる見通しとなっていますが、北海道は本州からの電力融通に制約があることから、発電所のトラブル停止により厳寒期に電力需給がひっ迫すれば、道民の生命や安全を脅かすことも懸念されます。電力需給安定のためには、需要削減対策としての継続した節電の取り組みが欠かせないものであり、また地球温暖化対策や省エネルギー促進のためにも必要な取り組みです。

道民のみなさん、企業のみなさんにおかれましては、この冬も無理のない範囲で節電にご理解とご協力をお願いします。

●問い合わせ
北海道経済部産業振興局環境・エネルギー室エネルギーグループ ☎011(204)5886

降雪期の事故防止を

例年、屋根の雪下ろし作業中の転落や、屋根からの落氷雪の下敷きになる事故が発生しているほか、暴風雪により命を落とす被害も発生しています。このような事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。

◆雪下ろしは複数人で行いましょう。
屋根の雪下ろし中に、ハシゴや屋根から転落する事故が発生しています。作業中にハシゴを支えたり、通行人や子供の安全を確認したり、万一の際に救助をするため、雪下ろし作業は複数人でを行い、転落防止の措置を確実に行いましょう。

◆除雪機による除雪は安全を確かめながら行いましょう。
除雪中に除雪機に巻き込まれたり、下敷きになるなどの事故が発生しています。

除雪作業中は作業に適した服装と周囲の安全を確認し、その場を離れる時には、エンジンを必ず停止しましょう。
◆気象情報に注意しましょう。
暴風雪や大雪警報が発表されている

ときは、なるべく外出を避けましょう。やむを得ず車で外出するときは、見通しが悪かったり、吹きだまりの発生なども予想されるので、道路状況に応じた無理のない運転に心掛けましょう。

天候が急変し車が立ち往生する可能性もありますので、車に防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープを用意しておきましょう。

●問い合わせ
帯広警察署 ☎25-0110

募集

自衛官及び予備自衛官補を募集します

募集項目	募集資格	募集期間	試験日	入隊・入校時期
自衛官候補生(男女)	18歳以上 27歳未満	試験前日まで	平成30年 1月15日～ 18日の予定	平成30年 3月下旬 予定
予備自衛官補	一般公募	18歳以上 34歳未満	平成30年 1月9日～ 平成30年 4月6日	4月14日～ 18日の間 いずれか1 日を指定。
	技能公募	衛生・語学・整備・情報処理・通信・電気・建設・放射線管理・法務などの国家免許資格などを有するもの		

●問い合わせ
帯広市西5条南14丁目13N C サウスビル
自衛隊帯広募集案内所 ☎23-8718

平成30年度入校生の追加募集を行います

国立北海道障害者職業能力開発校では、求職中の障がい者の入校生(訓練期間1年または2年)を追加募集しています。

詳しくは、当校までお問い合わせください。

●問い合わせ
北海道障害者能力開発校 ☎0125(52)2774

国民年金

納めた国民年金保険料は 社会保険料控除の対象です！

平成29年9月1日から「国民年金・厚生年金保険障害認定基準」の一部が改正されました。今回の改正は、差引認定(身体の同一部位に新たに障害が加わった場合の障害の程度の認定)の改正によるものです。

また、平成29年12月1日から「血液・造血器疾患による障害」の認定基準が一部改正され、造血幹細胞移植についての規定の追加や認定のための検査項目が見直されました。詳しくは帯広年金事務所へお問い合わせください。

●問い合わせ
帯広年金事務所 ☎25-8113
役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

税

村・道民税第4期、国民健康保険税 第6期納期限は12月20日(水)

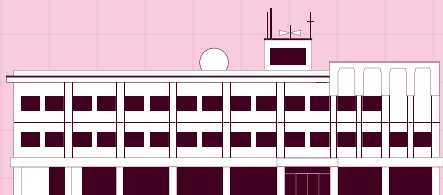
納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

●問い合わせ
役場住民生活課住民税係 ☎52-2112



1月5日(金)

役場臨時窓口を開設します



年末年始の役場閉庁日が12月30日(土)から1月8日(月)までの10日間となることから、1月5日(金)に役場庁舎1階で臨時窓口を開設します。業務が限られていますので、役場にご用のある方はご注意願います。

■開設時間

午前8時30分～12時00分

■取扱業務

- ①戸籍謄本などの戸籍証明書や住民票、印鑑登録証明書
②住所変更の届出
③戸籍の届出

■その他

運転免許証などの本人確認書類の提示が必要です。
印鑑登録証明書を請求される方は、印鑑登録証を持参してください。

●問い合わせ

役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

公共施設などの年末・年始業務状況

■ ⇒ 休み

		12月				1月					
		28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)
役場		○	○							午後休	
改善センター		○	○	○					○	○	○
柔剣道場		○	○	○					○	○	○
トレーニングセンター		○	○	○					○	○	○
改善センター図書室		○	○								○
福祉の里健康増進室		○	○	○					○	○	○
福祉の里温泉		○	○	○					○	○	○
国保診療所		○	午後休								
歯科診療所		○	午後休								
ふるさと館		○	○	○							○
リサイクルセンター		○	—	○					○	—	○
ごみ収集	市街地区	資源	可燃						—	可燃	—
	農家地区	—	資源						可燃	—	—
し尿汲み取り(水曜日)		—	—						—	—	—

※国保診療所は、上記期間内は休診となりますが、急な病気やケガの際には診療に応じます。状況などをお伺いし診療時間を調整しますので、お電話でご連絡(☎52-2301)ください。

農村民環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

21世紀ガイド図鑑 世界の図書館
ほるぷ出版/編

21世紀ガイド図鑑 世界の議事堂
ほるぷ出版/編

世界一やさしい読書習慣定着メソッド
印南 敦史/著

一生モノの「残る」読書ができるようになる！年700冊も夢じゃない読書のコツを解説します。

書き示された文字を守りたい、接したいという衝動に、世界の文化がいかにして応えてきたかを表す写真集。

宮殿のように豪華な議事堂と現代的行政建築のコントラストがあなをきつと楽しませてくれる一冊。



農業クラブ全国大会に参加して
農業科2年 川上 優太
10月25日から26日に岡山県で開催された農業クラブ全国大会の農業鑑定競技(農業)に参加しました。
今回の大会では日頃の学習の成果を活かし、優秀賞を獲得することができたので良かったです。これから自信を持って学習に取り組み、わからない部分を減らしていきたいです。
全国大会に出場する機会は来年で最後ですが、来年も代表となり今年度以上の成績を残せるように頑張ります。



見学旅行を終えて
生活科学科2年 下嶽 奏
私たち2学年は10月31日から11月3日まで高校生活最大のイベントでもある見学旅行に行きました。
初日の奈良公園、3日目の清水寺、最終日の大阪城と歴史的建造物の見学をしました。特に清水寺では有名な清水の舞台が釘を1本も使わず木組みで造られたと聞き、建築に関わった人たちに努力や思いを実感しました。
また、奈良・京都・大阪では十勝との人口密度の違いをはっきりと感じるなど、この見学旅行でたくさんさんの経験をし、充実した4日間となりました。

更別農業高校 ニュース

村商工会青年部創立50周年

青年部50周年記念プロレス大会を開催

10月28日(土)、商工会青年部創立50周年記念事業として「北都プロレス」によるプロレス大会がトレーニングセンターで開催され、村内外からプロレスファンや家族連れなど201名が訪れました。

試合開始前には、小学生数人がプロレスラーに挑むエキシビジョンマッチを行い、村の柔道少年団に所属する児童などがプロレスラーを相手に果敢に挑んでいました。

試合に先立ち、主催者を代表して商工会青年部の太田綱基部長が「大会が盛大に開催され、嬉しく思う。今日は魅せるプロレスを楽しんでもらえたら」と挨拶。目の前で繰り広げられる白熱した試合に観客のみなさんは大興奮の様子で楽しんでいました。



半世紀の節目を祝う 創立50周年記念式典

10月29日(日)、社会福祉センターで商工会青年部創立50周年記念式典が開催され、青年部員や青年部OBなど37名が参加しました。

太田綱基部長は「もつと地域に根ざした活動をし、ふるさとが発展するために関係機関とより一層協力することを誓います」と挨拶。続いて高木修一商工会長が挨拶を行いました。

式典では、青年部活動に尽力された歴代青年部長18名に対し、感謝状の贈呈も行われ、受賞者を代表し第2代青年部長の石村久男さんが「新しい村づくりには若い力が必要。これからも大いに協力していく所存です」と謝辞を述べられました。また、50周年記念事業の報告も行われ、12月には記念誌を発行するとの報告もされました。



戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

あが 明 運くん
直 樹・里 美(旭 区)
やま 角 咲 菜ちゃん
智 志・恵 里(更 別 東 区)
やま 田 星 空くん
雄 二・梨 菜(更 生 区)

お悔やみ申し上げます

西 山 由 雄さん 93歳
(旭 区)
高 島 シズ子さん 87歳
(北 更 別 区)
小 川 幸 子さん 83歳
(中 央 町)

人のうごき

■人 口
3,233人(－4人)【内外国人5人】
男1,598人(－5人)
【内外国人2人】
女1,635人(+1人)
【内外国人3人】

■世帯数
1,331世帯(±0)
【内外国人1世帯】
※11月1日現在。()内は前月比。

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録
1614日(11月30日現在)

■地域安全運動のお知らせ

全国的に「飲酒運転は凶悪犯罪である」という気運が高まっています。その一方で「捕まらなければ大丈夫」という安易な考えで車を運転する人が多くいます。

お酒を飲むとわずかな量でも運転に大きな影響を及ぼし、重大事故を起こす可能性が高まります。

飲酒運転は絶対にやめましょう。



山本 章瑛くん
平成28年12月25日生
柏町

いつもニコリ笑顔に家族みんな癒されます。

これからもお兄ちゃんと仲良く元氣いっぱい大きくなってね！

和也・紗由里



角玄 壮汰くん
平成28年12月13日生
旭区

わが家の長男の壮汰です。

いたずら好きのヤンチャぼうずです。これからも変わらず、元気に育ってね。

晃一・綾子

水道が凍ったときは 村の指定給水工事事業者へ

これから厳しい冬がやってきます。長期にわたる外出のときは、「水落とし」をしましょう。もしも水道が凍結したときには、村の指定給水工事事業者に連絡ください。

※解凍にかかる費用などは自己負担です。

更別村指定給水工事事業者

㈱更別企業 ☎52・3183

西田鉄工所 ☎52・2064

武藤電気店 ☎52・3307

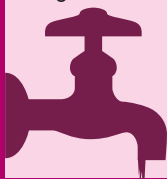
㈱ヤマジョウ ☎52・2036

※右記以外にも指定事業者があります。詳しくは役場に問い合わせください。

●問い合わせ

役場建設水道課上下水道係

☎52・5200



広報さらべつ 12月号
Public Relations Sarabetsu 2017 vol. 663

平成29年12月11日発行(vol. 663)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595

北海道河西郡更別村字更別

南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) ☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) jyumin@sarabetsu.jp



詳しい内容は2〜3ページに掲載していますのでご覧ください。

表紙の風景

11月21日(火)、村の応援大使を務める北海道日本ハムファイターズの大野奨太選手と石井裕也選手が村を訪れ、更別小学校や更別中央中学校を訪問。そのほかにも十勝スピードウェイで模擬走行なども行いました。